

学校だより 石薬師 (いしゃくし)

鈴鹿市立石薬師小学校

Tel 374-1028 Fax 374-1057

令和6年9月11日

第9号

ホームページはこちらから

石薬師小

Q 検索

学力調査の結果

今年4月に行われました6年生対象の「全国学力・学習状況調査」、4・5年生対象の「みえスタディチェック」の結果についてお知らせします。

【三重県と本校の正答率比較】

	全国学調		みえスタディチェック			
	6年生		5年生		4年生	
国語	本校	ほぼ同じ	本校	県平均を上回る	本校	県平均を下回る
算数	本校	県平均より少し下回る	本校	県平均を上回る	本校	県平均を少し下回る
理科			本校	ほぼ同じ		

※三重県の6年生は、全国平均と比べると少し低い結果となっています。

これらの結果を受けて、各学年のよかったところとよくなかったところをまとめると、次のようになります。

<6年生>

よかったところ

- 国語の無回答率は、全国・三重県よりも少なく、何とか回答しようとしている。
- 国語において、話すこと・書くことは全国・三重県平均を上回っている。
- 算数のデータ活用については、全国・三重県を上回っている。

よくなかったところ

- 漢字の書き取り「競技」が、全国・三重県よりも低い正解率だった。
- 読む力を必要とする問題の正解率が低い。
- 算数の図形に関する問題の正解率が低い。
- 数学的解釈を用いて答える算数の記述式問題の正解率が低い。

全体として、問題文をきちんと読み取れていないための凡ミスが目立つように思いました。昨年度も同様の傾向がありました。日頃から、例えば読書をする習慣をつけるなどすることで、読む力がつき、問題文をきちんと読み取ることができるのではないかと考えられます。

<5年生>

よかったところ

- 全体的に、三重県平均を上回っている。
- 算数の図形問題は、三重県平均をかなり上回っている。
- 基本的な計算力は身につけている。

よくなかったところ

- 「主語・述語」「修飾・被修飾」の関係の理解が不足している。
- 問題の読み取り不足による間違いが散見される。

<4年生>

よかったところ

- 図から分数に表す問題の正解率は、県よりも高い。
- 図形に関する問題は県よりもできている。

よくなかったところ

- 無回答率が高い。
- 漢字の書き取りができていない。
- 条件に応じた回答ができていない。

5年生は三重県平均を上回っていますが、単純なミスも散見されています。問題をしっかり読み取る力がまだまだ不足しているように思えます。4年生は分野によってはよくできていますが、漢字の書き取りミスが目立つことと、無回答率が高いことが気になります。

今後の取組について

今回の結果を受けて、石薬師小学校では夏休みに研修会を開き、学校としての成果と課題についてしっかり情報共有しました。その上で、各学年が2学期以降の授業において、どんなところに注意しながら進めていくのかを検討しました。具体的には、考えたことを自分の言葉で伝え合う活動をもっと取り入れることで自分の考えをよりはっきりさせたり、国語の授業で、筆者の考えや説明の工夫について、資料の効果にも触れながら自分の考えをまとめる活動を取り入れたりとすることで、記述内容を高めていくことにつなげていきたいといったことです。

単純なミスがみられることについては、問題の読み取りが甘く、落ち着いてやれば正解できるはずなのに不正解となっていることが多いように感じます。このことから、「読む力」をより一層伸ばしていく必要もあるように思います。

「読む力」に関しては、1学期末に子どもたちに行ったアンケート結果(次の学校だよりに掲載予定)によると、4～6年生は昨年比べて「読書が好き、どちらかというが好き」の割合が4.7ポイント減少しています。また読書時間についても、1時間以上と回答した割合は、13ポイント減少しています。学年が上がるにつれて読書時間が減るのは昨年同様ではありますが、昨年以上に読書時間が減っていることが気になるところです。

本校では、学力向上(認知能力)はもちろんですが、非認知能力の育成にも力を入れています。読書活動は非認知能力の育成に大変有効であるとの研究結果もあります。非認知能力が身につけば、学力の向上も期待できることから、本を読むことはとても大切なことです。

